

《 岐 阜 県 》

岐 阜 県 の 雪 害 危 険 地 域

岐阜県寒冷地林業試験場

水 谷 和 人

I はじめに

岐阜県林政部では昭和56年に“岐阜県の森林立地 — 立地環境に基づく施業技術体系 —”を発行し、既に本書は適切な森林施業を進めて行く上での指針となり、また、森林の効果的な利用の基準として大きな成果をあげてきている。今回は“岐阜県の森林立地 — 立地環境に基づく施業技術体系—”の内容を中心に、岐阜県の雪害地域について述べることとする。

II 岐阜県の雪害危険地域

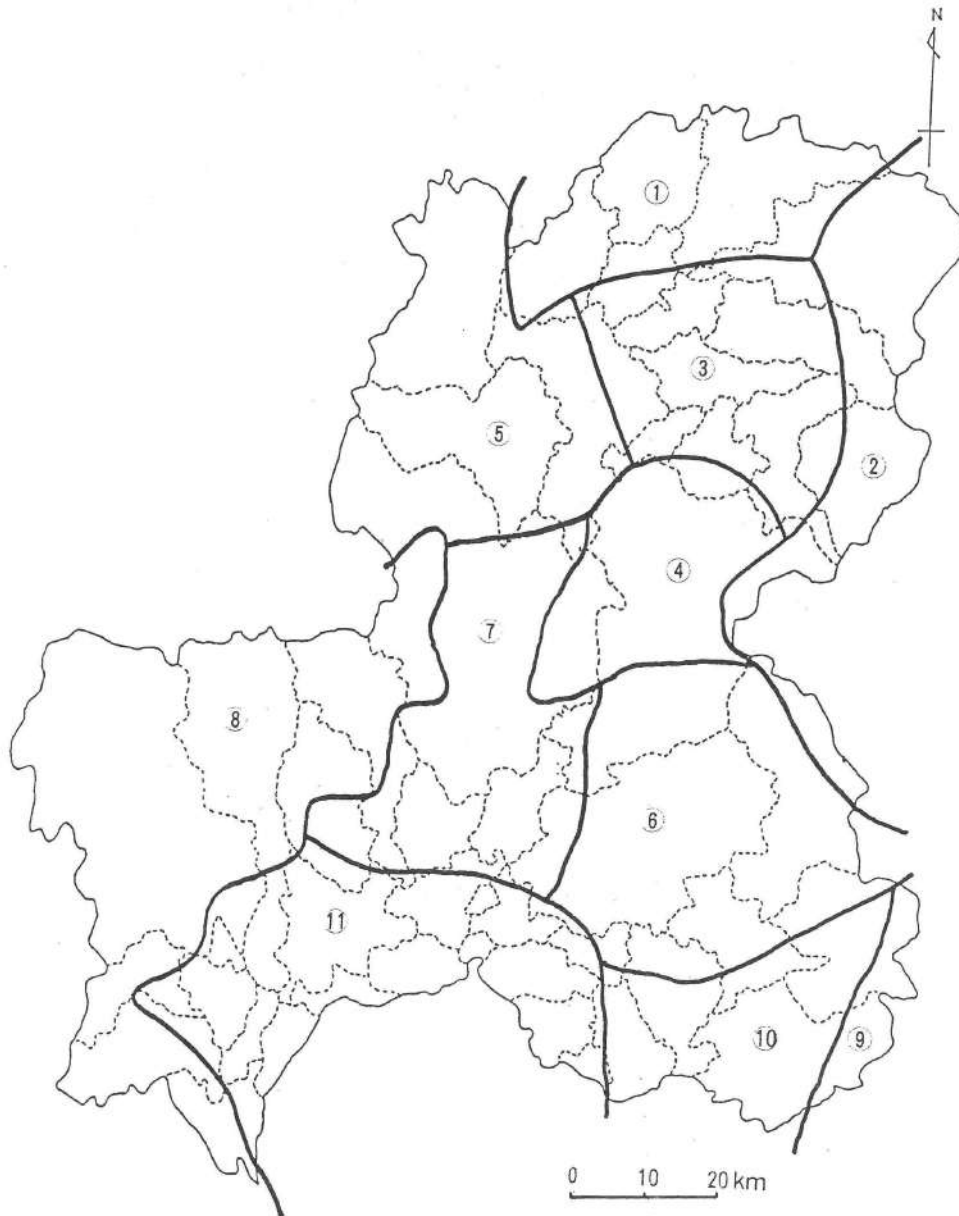
岐阜県林政部では、気象条件の似かよっている地区を整理統合して11の森林立地区に分けた。これは図-1のとおりである。また最深積雪線図を図-2に示す。この中で雪害危険度の高い地域について若干の説明を加える。

- ① 飛騨北部山地地域・⑤白山山地地域は積雪量が県内で最も多く、冬季の気温も比較的高い。そのため融雪期には、傾斜地は積雪の不安定地ができ、雪崩が発生し易い。また1日の降雪量が多くなるいわゆるドカ雪の頻度も高い。
- ② 飛騨山脈地域は高海拔地であり、内陸部に位置することから気温は低く、積雪量は比較的多いが、雪質は軽く、乾雪地帯である。
- ③ 飛騨中央山地地域は一部を除いて高海拔、寒冷なため積雪量の割に雪害は少ない。
- ⑧ 美濃北部山地地域は北部は白山山地地域と類似して雪害の危険性が高い地帯である。南部は積雪量も1.0 m前後と比較的少ないため、根曲り等の常習的な雪害は少ない。しかし美濃北部山地地域全域にわたって海拔高が低いことから、降る雪は水分を多く含む湿雪であり、岐阜県内で最も冠雪害の危険性の大きい地域である。

III おわりに

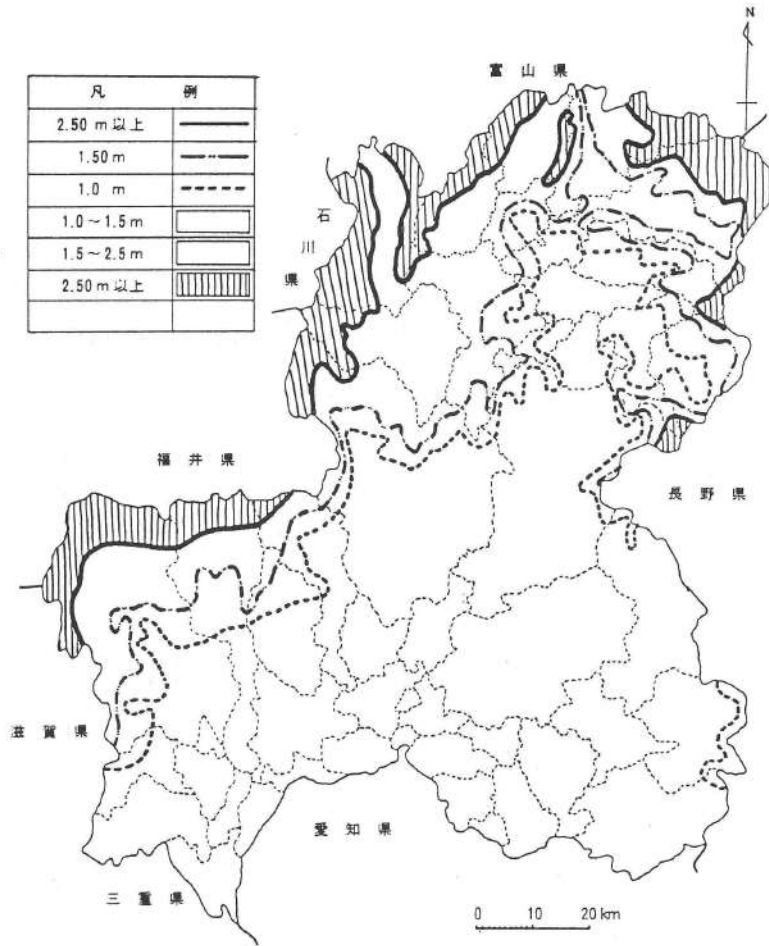
以上岐阜県の雪害危険地域について述べてきたが、次に当試験場で一昨年より行ってきたスギの林分調査の結果を示して終わりたいと思う。

当試験場では一昨年より岐阜県北部の飛騨地域(白川村・荘川村・河合村・清見村・宮川村・神岡町・古川町・国府町・丹生川村・上室村)内のスギ人工林調査を計115ヶ所について行ってきた。この調査林分の中から5 齢級以上の林分について積雪深別に傾斜と根曲り量(L)との関係を調べたのが図-3である。積雪深が小になるにつれて根曲り量(L)は傾斜の影響を強く受けることがわかる。

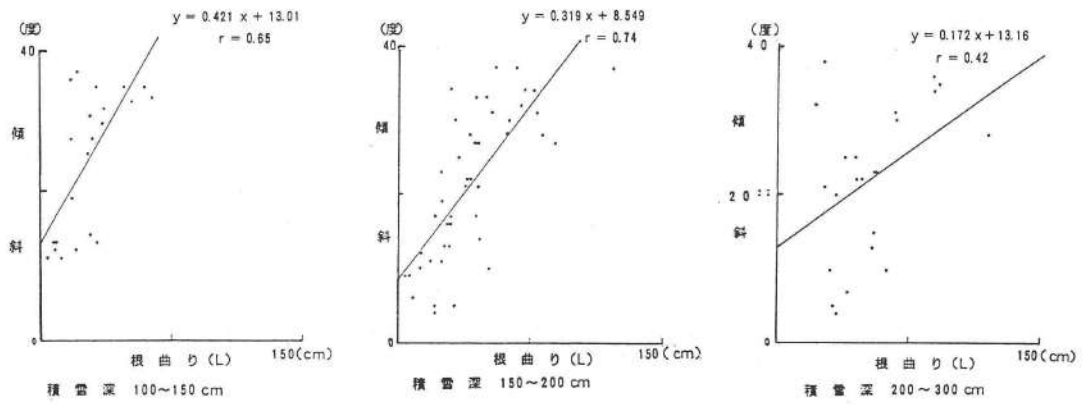


- | | |
|------------|------------|
| ① 飛騨北部山地地域 | ⑦ 美濃中央山地地域 |
| ② 飛騨山脈地域 | ⑧ 美濃北部山地地域 |
| ③ 飛騨中央山地地域 | ⑨ 恵那山山地地域 |
| ④ 飛騨南部山地地域 | ⑩ 東濃丘陵地地域 |
| ⑤ 白山山地地域 | ⑪ 濃尾平野地域 |
| ⑥ 美濃東部山地地域 | |

图一1. 岐阜県森林立地区分図



図一 2. 岐阜県最深積雪線図



図一 3. 積雪深別の傾斜と根曲り量 (L) の関係 (未発表資料 水谷・中垣)